

立教大学校友会報

http://www.rikkyo.ne.jp/grp/koyu/



ST. PAUL'S ALUMNI

セントポール



発行所 立教大学校友会 〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1 電話 03(3985)2634 発行人 江草 忠敬 編集人 石崎 孟

主なニュース

- 2面 ホームカミングデー 10月26日開催
3面 社会学部創立50周年
8面 青春！立教 周防 正行氏(56才)



時計台



立教大学総合発展計画 7つの挑戦

総長 大橋 英五

立教学院は2009年に創立135周年を迎えます。ウィリアムズ主教によってわずかな数の私塾として開かれた立教大学は、今や15000人を超える学生を擁する学校へと発展しました。この間、立教大学はキリスト教に基づく教育を実践し、有為な人材を多数輩出してきました。立教大学は、これからも建学の精神を大切に、教育・研究活動を続けてまいります。

わが国の私学は現在大きな転換点に立っています。明治大正時代の私学の黎明期から戦後の大衆化を経て、現在、学校間競争が激化しています。大学の場合18歳人口の激減による大学志願者の減少、つまりは大学全入時代に突入しました。これは、学校さえ選ばなければ、どこかの大学に必ず入学できるというこを意味します。したがって、学力が必ずしも十分でない生徒を受けざるを得なくなる一方、それらの生徒に対応した教育の工

みが止まれば、一気に受験生が減少することは明らかです。

そのため、全学をあげて、英語の立教の復活、キャリア教育の充実、専門科目のキャリアプログラム改革、大学院の改革など多様な教育改革を進めています。

教育の充実を図るためには、校舎や設備の整備が不可欠です。特に、学生力の向上のためには、少人数によるきめの細かな教育に対応した教室の設置は急務と言えます。また、自学・自習を促すためのスペースや図書館の充実も求められています。

立教大学校舎は、レンガ造を除き、その多くは昭和30年代に建設されたものが多く、法定耐用年数である50年に近づきつつあります。耐震工事等の措置は、おこなってまいりましたが、これはあくまで応急措置にすぎません。したがって、今後10年以内、今日の教育改革を可能とする校舎の建て替えを行うことが必要となります。当面の建設計画としては、学生自習スペースを中心とした15号館の建替え、教室研究室棟・図書館の建設を行うべく設計を開始しました。

施設の建設には、多額の資金が必要となります。すでにこれまでの財政改革によって資金の見直しは

ついでですが、財政の改善の点からは、これまで以上に、財政改革と努力が必要だと考えています。冗費の節約は当然ながら、人件費の見直しや外部資金獲得への努力など、財政改善の施策の実施も進めたいと思います。

また、立教というブランドをさらに強化し、社会からの評価を維持していくための広報活動も戦略的に続ける必要があります。広報戦略としては、立教全体のブランド力の強化、卒業生や保護者など

このように立教大学総合発展計画は、教育・施設を中心とした総合的かつ長期的な計画として策定されつつあります。すでに学院本部には、小学校から大学院までの総合的な将来計画を進めるため、「総合企画会議」を設置し、2015年までの今後の7年間を第一期計画として企画担当理事を中心に計画の立案・実施が進められています。

ウィリアムズ主教がめざした教育を現代という時代においていかに実現できるか、もう一度原点に立ち返り、あらたな立教を指して、オール立教の総力を結集した総合発展計画を進めていきたいと考えています。皆様のご支援とご協力を心からお願いいたします。

学士課程の改革 英語の立教

自立がさせる 孤立させない教育

学生成長支援

国際化から 国際連携へ

社会連携と 知の創造

大学院教育の 改革



立教からの挑戦

RIKKYO UNIVERSITY

学び集うキャンパスづくり

大学を卒業してはや二十数年経つが、今でも校友会の打合せなどで年に数回は大学を訪れている。打合せはたいがい午後六時過ぎから始まるが、その時間帯の立教通りはいつも授業帰りの学生で溢れている。そういう光景を見るにつけ「今の学生さんは随分勉強熱心だなあ」とつくづく感心させられる。しかしこんなに真面目な学生が多いのに社会人になってから苦労している人が多いようだ。新卒者の3年以内の離職率が年々増加し、今や三割を上回っているという。その原因はいろいろあると思うが、その一つにコミュニケーションを取ることが不得手とする人が多くなっていることが挙げられるだろう。▼私は学生時代、体育会に所属していたので部活動中心の学生生活だった。練習や試合が終わりに部が拘束されていない時間では酒を飲みながら、時には仲間の下宿に転がり込みながら、どうすればチームが強くなるか飽きもせず同じような話を繰り返していた。幸いに最後の春のリーグ戦で優勝を果たせたのもお互いの意思疎通が十分に出来ていたからだと思っている。▼大学を卒業してどのような職業に就こうとも、自分に関わってくる人々とコミュニケーションを取りながら、その社会の中でいい人間関係を作っていく努力をしなければ、せっかく苦労して手に入れた資格や知識も十分に生かせなくなる。▼大学生活の中で一生懸命勉強することはもちろん大事だが、仲間とのコミュニケーション作りも学んで欲しい。(松野 和彦59歳)